

# ソリューション マッチング会

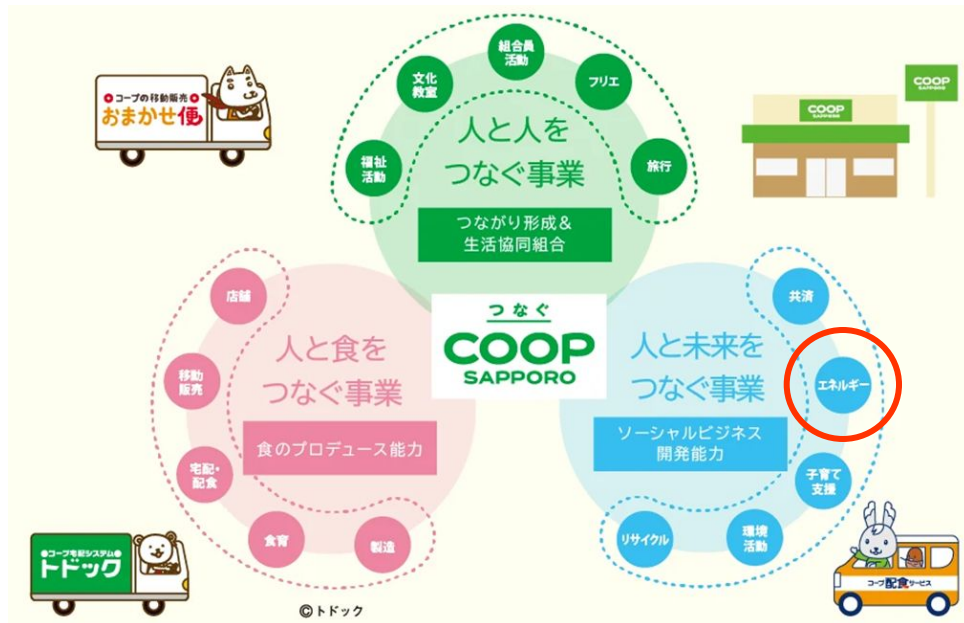
令和7年2月14日

\ いいこと、あったかい /  
 **コープのエネルギー**

**エネコープ** | コープのでんき  
**トドック電力**

## ◆生活協同組合コープさっぽろ

コープさっぽろグループは北海道に貢献する問題解決型組織を目指し「つなぐ」を合言葉に事業活動を通じた社会問題の解決に取り組んでいます。



2018年10月に北海道の企業・団体としては初めてRE100加盟、全国の生活協同組合としても初めての加盟となります。

## ◆社会貢献(一部抜粋)

### ・買物ついでに健康診断(早期発見・予防)

北海道は健康診断の受診率が全国最下位。過疎化が進む中で、整った医療を受けられる機関が少なくなり発見が遅れるケースも予測されます。



### ・スクールランチ

全道の公立小学校・中学校で「完全給食」が行われている学校は、97.7%。給食のない子供達に温かい昼食を届ける事業です。



### ・海のクリーンアップ大作戦

海洋汚染は深刻な状況で、プラスチックごみの海洋流出は世界規模の問題に。北海道の海をみんなでキレイに。

### ・チャイルドボックス

ベビーケアアイテムやベビー服等、出産される方の不安が少しでもやわらぎますように、コープさっぽろからの応援の贈り物です。



### ・おまかせ便「カケル」(移動販売車)

「移動スーパー」として、買い物が困難な方の暮らしを支えています。約1,000品目の商品を品揃えしています。

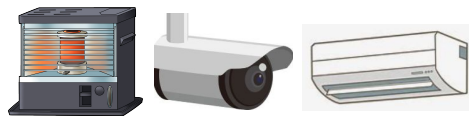
### ・ミーツ

地域での困り事をみんなで解決。お手伝いからコミュニティに、そしてまちづくりへ。25年1月今井太志氏、顧問に就任。

## ◆エネコープ

エネコープはコープさっぽろグループのエネルギー部門として、北海道の「エネルギー問題」と「環境問題」の解決をミッションに、地域の持続可能性向上・魅力UPに向けて全力で取り組んでまいります。

取扱品目：灯油・LPガス・住宅設備(ストーブ、ボイラー、エアコン、監視カメラなど)・電力・新エネルギー



名称：株式会社エネコープ

創立：2001年7月

所在地：札幌市中央区北8条西18丁目35-100

資本金：4.3億円

事業高：122.8億円(2023年3月期)

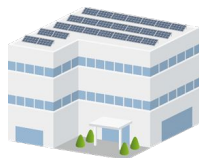
代表者：五十里浩輔

営業所：全道14か所

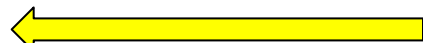
職員数：約100名

## ◆PPAとは

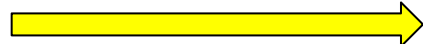
初期投資ゼロで脱炭素化と電気料金低減を同時に実現します。



役所庁舎  
公共施設



- ・太陽光発電設備を無償で設置
- ・再エネ100%電力を供給
- ・発電設備を20年間無償で保守



- ・電気料金をお支払い  
(再エネ賦課金、燃料調整費はゼロ)

# エコ-P



## ◆記念セレモニー



苫小牧市副市長様と弊社社長が登壇。NHKを始めとしたTV局4社、新聞社数社に取材をいただきました。

## ◆オンサイト PPA事例



置型

- ・アブロス沼ノ端スポーツセンター
- ・第一学校給食共同調理場
- ・第二学校給食共同調理場



防水屋根基礎設置型

- ・宅配釧路西センター
- ・ぬまのはた店



壁面型

- (フレキシブルパネル貼付け)
- ・恵庭下水終末処理場



屋根

- (フレキシブルパネル貼付け)
- ・道の駅ウトナイ湖



野立型

- ・登別市民プールらくあ
- ・下水処理場、ウトナイ湖(一部)



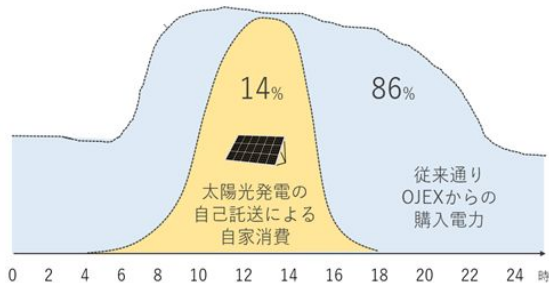
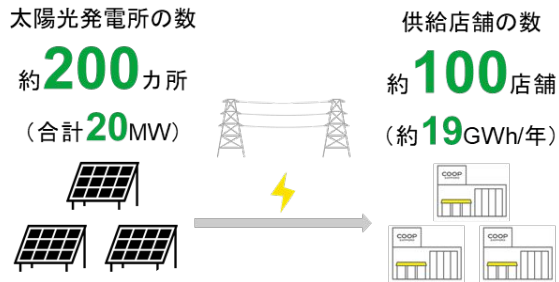
垂直型

- ・宅配手稲センター
- ・宅配函館東センター

# 自己託送(オフサイト PPA) / 省エネ機器

## ◆自己託送

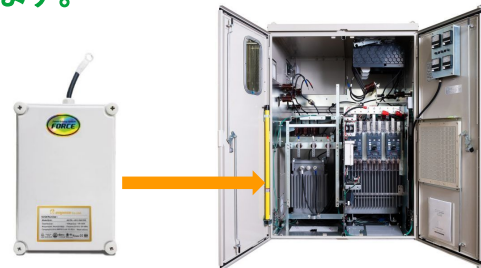
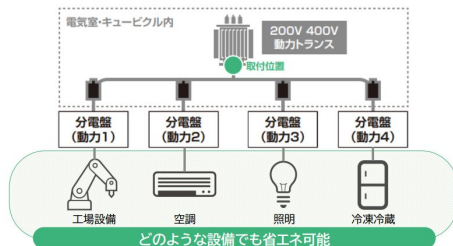
道内200か所の太陽光発電所を設置し、北海道電力ネットワーク様の送電網を利用してコープさっぽろの店舗に送電し供給。



同じスキームを利用し、オンサイトでは、設備導入困難な公共施設にも、**オフサイト**で導入が可能になります。

## ◆省エネ機器「FORCE」

送電環境を改善して、消費電力削減を図る省エネ機器。電力品質改善により、電力使用量の5%から15%削減が期待できます。  
**コープさっぽろ 77店舗へ導入しています。**



## ◆省エネ機器「EcoloDy」

電力需要のピークが目標値を超えそうなタイミングでEHP(電気駆動式空調機器)を自動制御することで最大電力需要を抑制し、契約電力の引き下げ=基本料金の削減を図ります。  
**コープさっぽろ 2店舗へ導入しています。**



## ◆再エネの活用に関する協定書締結

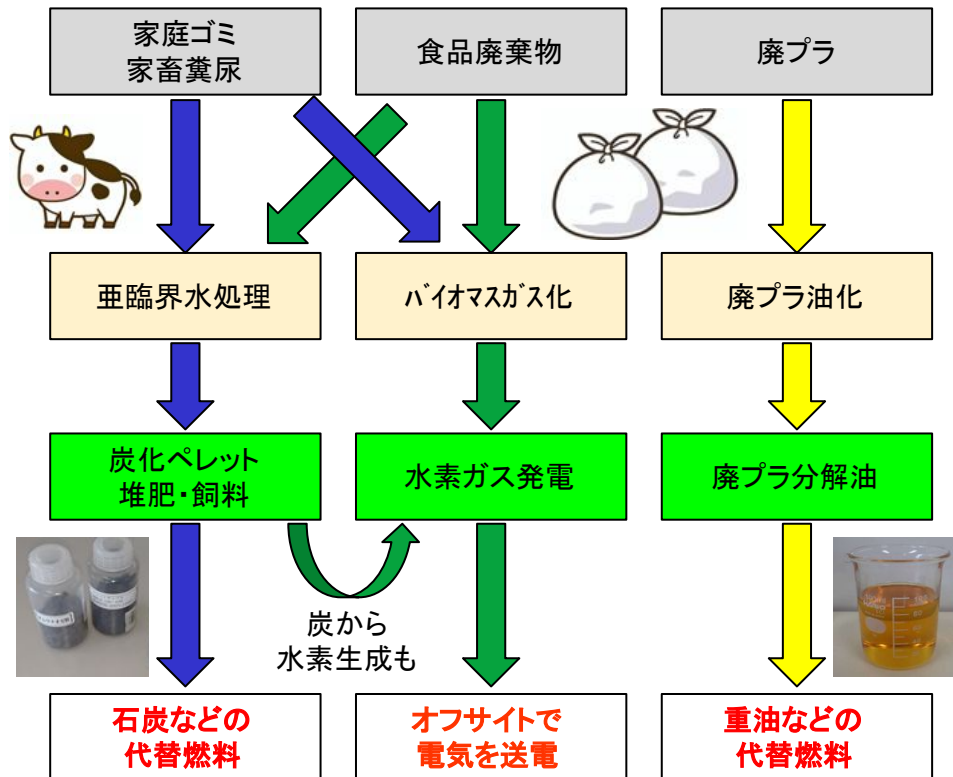
当麻町様と「再生可能エネルギーの活用に関する連携協定書」を2024年12月25日に締結いたしました。本協定は、再生可能エネルギーを活用した脱炭素化の推進と地域活性化を目的に、以下の4つの取り組みを柱として進めてまいります。

- ・再生可能エネルギーの地産地消
- ・省エネルギー化
- ・地域活性化
- ・ゼロカーボンシティの推進



## ◆新リサイクル技術

新たに開発されているリサイクル技術を活用して、ゴミの減容化と再資源化を進めます。



パーパス: エネルギーで北海道の "生きる" を支え、暮らしを豊かにする  
ミッション: 北海道における "エネルギー問題" と "環境問題" を解決する

地産地消の再生可能エネルギーの開発、運用を多くの自治体様と取り組み、それによって地域のエネルギー循環、経済循環を継続的に進めていきたい

ご清聴ありがとうございました



©トドック